

# 天皇の退位等に関する皇室典範特例法案特別委員会

## 委員一覧（25名）

委員長	尾辻 秀久（自民）	橋本 聖子（自民）	山本 香苗（公明）
理事	愛知 治郎（自民）	溝手 顕正（自民）	井上 哲士（共産）
理事	有村 治子（自民）	山崎 正昭（自民）	小池 晃（共産）
理事	中山 恭子（自民）	山谷 えり子（自民）	片山 虎之助（維新）
理事	長浜 博行（民進）	小川 勝也（民進）	森 ゆうこ（希望）
理事	西田 実仁（公明）	小川 敏夫（民進）	松沢 成文（無ク）
	鴻池 祥肇（自民）	榛葉 賀津也（民進）	伊波 洋一（沖縄）
	山東 昭子（自民）	藤末 健三（民進）	
	中曽根 弘文（自民）	魚住 裕一郎（公明）	（29.5.26 現在）

## （1）審議概観

第193回国会において、本特別委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、可決した。

なお、本特別委員会に付託された請願はなかった。

### 〔法律案の審査〕

天皇の退位等に関する皇室典範特例法案は、皇室典範第4条の規定の特例として、天皇陛下の退位及び皇嗣の即位を実現するとともに、天皇陛下の退位後の地位その他の退位に伴い必要となる事項に

ついて所要の措置を講じようとするものである。

委員会においては、本法律案及び立案に至る経緯が将来の先例となることの確認、本法律案と憲法及び皇室典範との関係、施行期日の決定及び施行に向けた準備に関する政府の方針、安定的な皇位継承を確保するための諸課題、女性宮家の創設等についての議論の在り方等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

## （2）委員会経過

平成29年5月26日（金）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

平成29年6月7日（水）（第2回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を定めることを決定した。

○天皇の退位等に関する皇室典範特例法案（閣法第66号）（衆議院送付）について菅内閣官房長官から趣旨説明を聴き、同長官及び横畠内閣法制局長官に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

愛知治郎君（自民）、長浜博行君（民進）、西田実仁君（公明）、小池晃君（共産）、片山虎之助君（維新）、森ゆうこ君（希望）、松沢成文君（無ク）、伊波洋一君（沖縄）

（閣法第66号）

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、無ク、沖縄

反対会派 なし

欠席会派 希望

なお、附帯決議を行った。